



# 個室ユニット 推進協ニュース Number 112

- 1面 「社会福祉法改正への対応を」 赤枝会長  
記念講演「社会福祉法人改革について」  
国政ニュース、こちら傍聴席
- 2面 熊本地震支援、新規実地研修施設  
募集説明会、指導者勉強会、  
フォローアップ研修、実地研修施設  
勉強会、支部便り【宮崎支部】  
新規入会施設のご紹介
- 3面 施設紹介【アットホーム博多の森】福岡県  
取組紹介【こぼろく】栃木県  
取組紹介【ジョイフル多治見】岐阜県  
【連載】第6回 認知症あれこれ
- 4面 介護ニュース・ダイジェスト  
ズバリ回答！人事・労務のお悩み  
【連載】第3回 高齢者のリハビリ  
【用語解説】情報セキュリティマネジメント試験

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL：045-921-0462 / FAX：045-921-0472

## 第11回社員総会

### 「社会福祉法改正への対応を」 赤枝会長 年度事業計画案など6議案を承認 熊本地震 被災施設支援継続

6月2日、全国個室ユニット型施設推進協議会（推進協、赤枝雄一会長）は、東京都大田区の大田区産業プラザコンベンションホールで第11回社員総会を開き、平成28年度の事業計画案及び収支予算案、熊本地震災義援金の使用方法案など6議案を承認した。赤枝会長は開会の辞の中で「社会福祉法改正への対応や熊本地震の被災施設への支援などを要請した。また厚生労働省社会福祉法人制度改革推進室の田中徹室長が社福法改正の狙いや残された課題などについて記念講演し、理解と協力を求めた。

#### 【第1部】

赤枝会長は開会の辞の中で、社会福祉法改正（一部施行済み）について「社福法改正に対応するためのプロジェクトを立ち上げたほか、個室ユニット施設推進協議会へ推進協の要望書を提出した」とこれまでの活動実績を説明した。また熊本地震の被災施設支援のため福岡支部を通じて熊本市に支援物資を届けたことを報告。引き続き、支援への協力を呼び掛けた。



当面の活動方針を述べる 赤枝会長

#### ▽全5議案を承認

##### ①27年度事業報告及び決算報告

ユニットケア研修事業や組織強化、全国研修大会 in 仙台2015、認知症介護実践研修、経営実態調査、新カリキュラムによるユニットリーダー研修に関する調査研究事業、支部長会・委員会、広報活動など。決算は経常収益855882221円、経常費用85694559円、当期経常増減額187662円となった。

##### ②28年度事業計画案及び収支予算案

役員会、ユニットケア研修、組織強化、個別ケア・認知症介護実践研修、地域ネットワーク、全国研修大会 in 新潟（11月24、25日）、経営実態調査、広報活動、支部長会、委員会などを開催する。収支予算額の規模は77063000円。

##### ③役員人事（支部長選任）案

選任された新理事1名、新支部長5名。○理事・中澤明子氏（社福せんねん村総合施設長）○茨城県支部長 堀野氏（特養しらとり施設長）○岐阜県支部長・加藤洋治氏（特養燦燦施設長）○埼玉県支

部長・尾島朱美氏（関東福祉専門学校校長）○東京都支部長・佐々木龍一郎氏（元気村グループ統括本部長）○長野県支部長・佐藤繁信氏（ハートフルケアたてしな・すずらん総合施設長）

##### ④熊本地震災義援金の使用に関する案

義援金1783737円（5月27日現在、第1回緊急支援物資費用434150円除く）は実情に配慮し、熊本支部長に一任する。

##### ⑤個人情報保護に関する基本方針案

プライバシー保護の一環として個人情報保護に関する基本方針をJIS規格に準じたものに変更する。名称を「個人情報取扱規程」とする。

#### ▽2年後の備え

新役員の紹介の後、前回の「全国研修大会 in 仙台・東北2015」開催に対して赤枝会長は佐々木龍一郎実行委員長に表彰状を贈った。また新たに入会した14施設（以下）が紹介された。

「養特でいご園」（沖繩）、「特養わしま（新潟）」「特養温湯」（大分）、「コミュニティハウスすいーとびー」（新潟）（神奈川県）、「せんねん村矢曾根の家」（愛知）、「老健国見ナッシングホーム翔裕園」（宮城）、「養特サクラレ福住」（新潟）、「特養ふなばし翔裕園」（千葉）、「特養知花の里」（沖繩）、「特養さつまの里」（千葉）、「特養にちげつ光」（大阪）、「特養ハートステーション」（岐阜）、「特養スマイル桜ヶ丘」（神奈川）、「特養恵徳苑」（神奈川）。

野邊正副会長は開会の辞で「社福法改正で一定規模以上の法人は評議員や会計監査人の設置が必要となるなど厳しい状況を迎えているが、政治力を無視せず、力を合わせて2年後（ダブル改定）に備えましょう」と締めくくった。

#### 【第2部】

厚生労働省の福祉法人制度改革推進室の田中徹室長が「社会福祉法人改革について」をテーマに記念講演し、会員からの質問に答えた。別稿を参照。

## 国政ニュース

### 消費増税2年半延期

安倍首相が正式表明

安倍首相は6月1日の記者会見で、今年10月1日から予定していた消費税率引き上げを2年半延期し、平成31年4月1日からとすると表明した。社会保障の充実が「引き上げと同じことを全て行うことはできないが、（アベノミクス効果による）税収の上振れで財源を確保し、優先順に実施する」と述べた。

### 10月調査実施を正式決定

27年度改定調査 給付費分科会

6月1日、介護給付費分科会は「平成27年度介護報酬改定の効果検証及び研究調査」の調査7項目とスケジュールを決定した。

調査項目は①通所リハ・訪問リハの実態②病院・診療所等の重度者の医療ニーズ③老健の適切なサービス提供④特養の医療的ケアの現状⑤居宅介護支援とケアマネジャーの業務実態⑥認知症高齢者への介護保険サービス提供におけるケアマネジメント⑦介護保険サービスの質の評価⑧の7項目。予定では、10月に調査実施。来年3月以降、結果と評価をまとめる。

### 療養病床再編の議論始まる

療養病床特別部会が初会合

6月1日、介護療養病床と医療療養病床（25対1）の移行問題を議論する社会保障審議会の「療養病床の在り方等に関する特別部会」の初会合が開かれ、厚生労働省は、移行先として新たに「医療内包型」案1-1「同型・1-2」「医療外付型」の3類型を示し、論点案として①柔軟な人員配置基準（柔軟な配置など）②施設基準の在り方（個室か多床室かなど）③新類型の財源（介護保険か医療保険か）④低所得者対策の必要性⑤制度設計に際しての留意事項（リハビリや介護療養型老健の転換など）を示した。

### 介護の生産性向上と効率化を

介護保険部会 厚労省が論点

6月3日、介護保険部会が開かれ、厚労省は「介護における生産性の向上や業務の効率化」「要介護認定の見直し」「介護保険適用外施設（救護施設、障害者支援施設など）の住所特例の見直し」「介護保険総合データベースの活用」の4点を新たな論点として示した。

### 介護における生産性の向上や業務の効率化を

介護における生産性の向上や業務の効率化を

「介護における生産性の向上や業務の効率化」では介護ロボットやセンサーなど新技術をどう利用するか。介護職の専門性をどう生かすかなどを挙げた。

## 記念講演

### 「社会福祉法人改革について」(要旨)

厚生労働省社会福祉法人改革推進室 田中 徹 室長

特養の内部留保が改革の契機になったことは確かだが、社会福祉法人は公益性を求められる組織として、経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域での公益的取り組みが常に求められている。既に（今年）4月から定款変更や会計監査人候補者の選定などが施行されており、来年度（平成29年度）から本格的に施行される。本格施行の課題となっている①評議員数②会計監査の在り方③控除財産の算定方法は、現在、「社会福祉法人の財務規律の向上に係る検討会」で審議されている。

### 「質疑応答」

「役員報酬額の基準を作るのか。皆さんの方で決めていただく。役員ごとの報酬総額は公開が前提になっている。評議員は有給か。無償でもかまわない。法人で決めてほしい。」

### 今回の改正は規制強化であり、流れに逆行してないか。

「国民から厳しい意見が出ており、法的にも整備されていなかったため法改正して明記した。組織統制や財務規律を強化し、社会福祉法人の信頼を回復することが狙いだ。」



社福法改正の要点を説明する田中室長

## ウの目タカの日

### こちら傍聴席

#### ◎優先順位

○：参院選の争点は？ 大手新聞社の政治部長を務めた評論家が頭を抱えている。7月10日投票が決まったが、「これ！という争点が見当たらない」とぼやく。もともと参院には、衆院のように解散がなく、3年毎に半数ずつ改選される。「そりゃ、争点がないケースだっただけだ」と慰めると、「それでは選挙報道が盛り上がりすぎず、投票率が下がる」と嘆く。

○：「こんな時こそ、将来を見据えた社会保障や外交問題を政党間で論じて国民の審判を仰いだらどうか」と水を向けると、「介護や保育の問題を争点にしたいけど、そもそも政党間で政策に大きな違いがない。どの政党も候補者も『充実させます』と答えるのに決まっている」と一蹴された。しかし、介護問題で言えば、「いつまで介護職員処遇改善を基本報酬と別手当にしているつもりなのか」と不安と不信が重なる。政党や政治家は答える責任があると思うのだが…。

○：「甘いな。政治家にとつて最大の関心は短期決戦の選挙戦をどう勝ち抜くか。処遇改善の具体策を掲げれば、必ず財源問題で行き詰まってしまう。社会保障の公約は曖昧模糊しておいた方がいい」と言い切る。安倍晋三首相は消費増税2年半延期を表明する際、1兆3千億円の社会保障充実分について「赤字国債は発行せず、一部を先行（優先）して実施する」と言明した。形ばかりの公約より、何を優先するのか、財源をどうするのか、分かりやすい説明が期待されている。（権）

### 曖昧な争点



7月10日投票

# 熊本地震支援

## 熊本地震に伴う支援のお礼

この度の熊本地震では、会員の皆様から多大なるご支援を頂き、心より感謝を申し上げます。

今回、4月14日午後9時26分に熊本で日奈久断層帯に起因するM6.5(震度7)の前震と、4月16日午前1時25分布田断層帯に起因するM7.3(震度7)という阪神大震災クラスの地震が連続して発生。南阿蘇・益城町・城南町を中心に熊本県内全てに甚大な被害をもたらしました。

私たち介護施設も震災によってライフラインが絶たれてしまい、生活資源の確保に奔走する毎日でした。一方で、避難者の受け入れや炊き出し等で役割を果たした事業所も多くあったようです。

そのような中4月29日に、介護保険委員長の藤村二朗先生に大量の支援物資を届けて頂きました。支援物資は直ぐに会員施設へ分配され、施設の基盤を支えました。

また、義捐金につきましては、これからの介護施設の復興と地域貢献に活用させて頂きたいと思っております。

全国個室ユニット型施設推進協議会  
熊本支部長  
社会福祉法人リデルライトホーム  
理事長 小笠原 嘉祐

## 寄付者一覧 ※敬称略・五十音順

※5月11日～6月10日までにご寄付いただいた方を掲載しています。  
ヴァイラ横浜 恵徳会、東雲の丘、寿老苑、ジョイヴァレッジ、白熊会、推進協事務局一同、太陽の園ほごがや、たちばなの里、天空の杜、萩の里、八生会、ひがしざわ、フルーシヤトよいち職員親睦会、横浜長寿会、ワインの里

# 支部便り

## 宮崎支部 総会

5月12日、宮崎支部(井手明利支部長)は宮崎観光ホテルで平成28年度第1回宮崎支部総会を開いた。



宮崎支部 総会

27年度事業報告並びに決算、28年度事業計画(案)並びに予算(案)について協議した。総会后、池原香氏(ケアガーデンのぞみの杜・施設長)が「終末期を支えるケアについて」をテーマに死の準備教育や逝き方への支援等について講演し、グループワークで各施設での終末期の取り組みについて情報交換を行った。参加者は、10施設、28名。



池原施設長

## 新規実地研修施設集説明会

5月17日に東京の大田区産業プラザで平成28年度新規ユニットリーダー研修実地研修施設集説明会を開催した。7施設、19名が参加し、井手明利氏(ユニットケア研修事業推進室室長)の説明を聞いた。



新規募集説明会(東京会場)

井手氏はP D C Aサイクルと人権尊重の大切さについて触れ、「入居者の体だけが健康でも個別ケアとして力を引き出すことが介護施設の職員の役割」と語った。

続いて調査項目の内、「A…設備面への配慮」「B…取組体制」「C…個別ケアの実践」を重点的に、自施設や調査員の経験から具体例を踏まえて説明した。

6月20日に大阪でも同説明会を実施し、選定調査を希望する施設は8月26日までに申請することとなる。

## ユニットケア研修指導者勉強会

5月18日～19日、東京の大田区産業プラザで28年度ユニットケア研修指導者勉強会を開催した。推進協の指導者26名が参加し、研修講師に必要なテクニク及び指導内容のポイントを確認した。

1日目は北原悦子氏(人材開発支援協会)が講師として求められるテクニク、グループワークの進め方を講義した。

北原氏は冒頭に「何故講師が要るのか」と問題提起し、講師は受講者の気付きを引き出す役割を担うものであり、居るのではなく要る講師であること、受講者志向を持ち続けることが大切だとアドバイスした。

2日目は始めに推進協事務局の山崎がマイクロソフト公認インストラクターの経験から、プレゼンテーションテクニクについて話し、パワーポイントの機能をデモンストレーションで紹介した。

続いて、尾島朱美氏(関東福祉専門学校・校長)が指導者の心得及びユニットケア研修における指導ポイントを講義した。推進協の講師として、丁寧でわかりやすい言葉を使い、双方向の授業を展開することで受講者のモチベーションを高めていくことを再確認した。午後からはユニットリーダー研修の各講義における指導のポイントを確認した。

2日間をとおして参加者からは「相手目線は介護の仕事でも同じであるため、相手の立場になれるよう日々努めていこうと思った」「研修講師としての姿勢を学べた。今回勉強したことを実際の講義で活かしていきたい」などの感想を述べた。



右(上) 北原氏 左(上) 尾島氏  
下) ユニットケア研修指導者勉強会

## ユニットリーダーフォローアップ研修

5月26日に東京都千代田区の株式会社ケアフォースで、5月27日に福岡市のリファレンス駅東ビルでユニットリーダーフォローアップ研修を開催した。

まず、井手明利氏(ユニットケア研修事業推進室室長)が、「ユニットリーダーに求められるリーダーシップ」をテーマに、リーダーシップ、良質なチーム作り、ユニット職員のマネジメントについて講義した。

リーダーが施設の理念に基づき、具体的にどのようにしたいかという思いを、ユニットの職員と共有し、手が届きそうな目標を立て計画し、みんなで協力して取り組むことの大切さを語った。そのためにもリーダーは明確な価値観とビジョンを持ち、ユニット職員の本音を聞ける関係性を築くことが重要であることが説いた。



上) 東京会場 下) 福岡会場・井手室長

その後、各会場で3つの実地研修施設、合計6名の職員が実践発表をした。東京会場では成田義崇氏(ニューバード)、上武千鶴氏(ころぼっくる)、平木満氏(燦燦)が、福岡会場では西さやか氏(天空の杜)、菱沼あや子氏(玄海園)、平島奈美氏(のぞみの杜)が自施設での取り組み事例について発表した。



福岡会場	東京会場
(天空の杜) 私らしいリーダーシップ	(ニューバード) 家族との関係づくり・職員とのモチベーション向上に繋がったユニット便りの取り組み
(玄海園) ユニットのリスクマネジメント	(ころぼっくる) BPSDを意識した排泄の取り組み
(のぞみの杜) 新人スタッフの育成について	(燦燦) 食事を中心とした生活環境の個別化への取り組みについて

また、昼休憩後と講義終了後に、株式会社ケアフォース(東京会場・北村健太代表取締役社長、福岡会場・鈴木理恵マーケティングディレクター)が腰痛予防

についての講演と福祉機器の説明およびデモンストレーションを行った。ケアフォース社の北村社長と鈴木氏は、欧米ではノーリフティングポリシーを徹底して普及させたことにより、介護職には腰痛が無いと語った。しかし、日本では、25年に厚生労働省からの「職場における腰痛予防対策指針」の中で「腰部に著しく負担がかかる移乗介助等では、リフト等の福祉機器を積極的に使用することとし、原則として人力による人の抱上げは行わせない」ことが記述されたが、なかなか進まない状況で、先進国の中で一番遅れていることを指摘した。

受講者からは「内容の濃い研修だった」「悩んでいたことのヒントを得た」「事例発表、とても勉強になった」といった感想が寄せられた。



北村社長



デモを行う鈴木氏

## ユニットリーダー研修 実地研修施設勉強会

推進協は、6月3日に東京都の大田区産業プラザで平成28年度ユニットリーダー研修実地研修施設勉強会を開催した。全国から23施設57名が参加した。

井手明利氏(ユニットケア研修事業推進室室長)が開会の挨拶をした後、事務局から新規実地研修施設を紹介し、ころぼっくる(栃木県・薄井裕二施設長)、あさひが丘(愛知県・若月剛治施設長)、せんねん村矢曾根の家(愛知県・木下典子施設長)、ゆうり(大阪府・八尾英人施設長)の4施設長が挨拶した。

その後、事務局がユニットリーダー研修全体の流れや実地研修時の諸注意、実施報告について説明した。

続いて、今後のユニットリーダー研修のあり方について井手室長が「平成29年度以降は介護過程の展開とユニット



若月施設長 薄井施設長  
八尾施設長 木下施設長



尾島校長 井手室長

リーダーの役割に比重がおかれる」と説明した。また、情報セキュリティマネジメント試験の資格を持つ事務局の山崎がプライバシーマーク取得の一環としてクラウドの利便性及びセキュリティについて説

明した。午後は尾島朱美氏(関東福祉専門学校・校長)が、介護過程の展開、施設マネジメント、福祉機器の活用について講義した。

平成28年度 ユニットケア研修 受講者募集

お申込受付中!

お申込は Web で!

受講料  
 研修料 36,000円  
 リーダー研修料 100,000円

受講条件を満たしている方のお申込は 原則お断りいたしません!

お申込みは Web で [suishinkyo.net](http://suishinkyo.net)

## 新規入会施設のご紹介

平成28年5月5日入会

- 支部名 沖縄支部
  - 法人名 社会福祉法人沖縄にじの会
  - 法人代表者 理事長 仲西 常雄
  - 施設名 特別養老老人ホームゆがふ苑
  - 施設代表者 施設長 伊計ノブ子
  - 住所 〒900-0027 沖縄県那覇市山下町5番30号
  - 電話 098(996)2200
- 平成28年6月1日入会
- 支部名 大分支部
  - 法人名 社会福祉法人平成会
  - 法人代表者 理事長 石井 昌敏
  - 施設名 地域密着型特別養護老人ホーム花月園
  - 施設代表者 施設長 石井 昌敏
  - 住所 〒877-0082 大分県日田市日ノ出町133-1
  - 電話 0973(25)6000

# 福岡県

社会福祉法人 敬愛園  
特別養護老人ホーム

# アットホーム博多の森



## ～「寄り添い・ゆっくり・楽しく生きる」地域に開かれた施設を目指して～

【科学的介護への取り組み】  
当施設では、2年前から「介護力向上・科学的介護」への取り組みを行っています。認知症の周辺症状や臥床傾向に伴う二次的障害の断ち切りや

【家庭に近い環境を心がけて】  
アットホーム博多の森は、入居ベッド数99床・ショートステイベッド数27床・デイサービス定利用者数18名の介護老人福祉施設です。全居室完全個室ユニット型で、居室の広さは約12畳となっております。少人数（2ユニット20名入居）11名ショートステイ（20名）で、なじみの関係を作りながら、家庭に近い環境で共同生活を送っていただけるよう日々取り組んでいます。  
スタッフはケアの専門家として支援をしますが、あくまで生活の側面的な援助を行い、失いかけていた記憶や動作を思い出して頂く雰囲気作りにも心がけています。



施設外観

【地域と施設の紹介】  
当施設は、福岡の空の玄関口である福岡空港を眼下に見下ろす小高い場所に位置し、緑も豊かな11年目を迎えた施設です。  
施設を一步外に出るとそこには四季折々の自然が迎えてくれる丘陵地。少し時間を遡ったような懐かしい気持ちになれる場所。そんな、情緒溢れる場所に「アットホーム博多の森」があります。博多の町の賑わいを育み、守り続けてこられた方々の為に、博多で育った私達が守りたいという信念で作りました。近くに來られた際には、是非一度お立ち寄り下さい。



福岡ヤフオク！ドームで野球観戦

【福岡ドームで野球観戦】  
福岡ヤフオク！ドームでの野球観戦。美味しいものを食べ、大好きな野球観戦をした後は、職員と一緒に風船を飛ばし勝利の白星宣言。皆さん



博多どんたく

【博多どんたくを施設で】  
博多の伝統行事のお祭りである「どんたく」を入居者様に一目見て頂きたく、慰問の方々をお呼びしました。皆さん、昔懐かしさの余韻に浸りながら参加されていました。

予防の実践などに取り組んだ結果、取り組み前と比較すると、水分摂取量の平均値が全体的に上がり、脱水及び尿路感染等による入院が大幅に減少しました。  
また、入所者の重度化が進んでいる状況で「ノーリフトポリシー」の取り組みを開始しました。ノーリフトとは「押さない！ 持ち上げない！ 運ばない！」という考え方で、現在ではアメリカにも広がり、介護者の腰痛問題の解決に役立ち、介護者の腰痛による欠勤が減ったことが報告されています。この2本の柱を軸にして今後も入居者の方々が安心して、健康的な生活を継続することができるよう支援してまいります。

第2回 月隈まごころサロン

平成28年6月12日(日) 午後2時～3時30分  
7月19日(土) 午後1時～2時30分

メインコンサート  
出演者様  
小倉好子様

★施設開放のご案内

私は、平成25年8月に博多の森に入職し、翌年4月に施設長に就任いたしました。  
前施設長を中心に築き上げられた基盤をもとに、より良い施設を目指し日々努力しています。  
今月、地域包括ケアシステムの構築の一環として、近隣施設・医療機関と共同で、地域高齢者・障害者の方々とふれあいの場「サロン」を開催します。より一層博多の森を知っていただき、今後も増大する介護問題などに対して柔軟に対応、法人理念にある「寄り添い」「ゆっくり」「楽しく生きる」をコンセプトとして共に生きる施設、地域に開かれ信頼される施設を目指していきます。

【中村孝也施設長から】  
月隈校区の皆様とのふれあいを目的とし、地域の方のコンサートや出店、カフェなどを近隣の施設、医療機関で順番に開催しています。アットホーム博多の森では今回が初めての開催となります。

大変満足されていました。

職員と一緒に風船を飛ばして

中村施設長

〒812-0855 福岡県福岡市博多区下月隈 73-1 TEL:092-623-6236 FAX:092-623-6116  
【特養】 特養99名（10ユニット） ショートステイ27名（2ユニット）

月隈まごころサロン案内

連載 第6回  
認知症 あれこれ  
認知症者のコミュニケーションについて

私たちは認知症高齢者の方々のコミュニケーションはしっかりと図れているでしょうか？「できている...?」「できていない...?」  
今回は認知症の方とのコミュニケーションにおけるポイントなどを確認しておきましょう。

1. コミュニケーションのポイント  
大切なことは、「やさしくゆっくり」とです。①話をする時の距離を考慮していますか？②感情の交流を図っていますか？（説得ではなく納得を）、③わかりやすい、なじみのある言葉を使っていますか？④一度にたくさんを伝えるはいいですか？（説明文より簡潔な表現）、⑤話すスピードを考えていますか？声の大きさは？⑥繰り返し伝えることを怠ってはいませんか？⑦目で見て気付けるように工夫していますか？⑧相手を敬い、丁寧に伝えていますか？

2. コミュニケーションにおける姿勢  
①相手の目を見て、同じ目線で話をしていますか？②温かいまなざしと優しいしぐさで接していますか？③相手の気持ちを受け入れながら聞いていますか？④相手の尊厳を大切にしていますか？⑤自尊心を傷つけないですか？⑥言葉や行動の背景にあることに気づくことが出てきますか？

3. コミュニケーションにおける聴き方  
①しっかりと相手の目を見て聴いていますか？②「うなづき」と「あいづち」はしていますか？③相手の要点を整理しながら聴いていますか？④相手の表情など、体から出しているサインに目を向けていますか？

認知症の人のコミュニケーションにおいては、伝えるときも聴くときも、何を言ったのかという「言語」だけに捉われない「非言語」などによるコミュニケーションも意識することが大切です。さあ！今一度自身のコミュニケーションを再確認しておきましょう。

（認知症介護指導者 秋津克巳）

社会福祉法人光誠会  
ころぼっくる(栃木)  
施設長：薄井裕二

4月某日、業者様のご協力により当施設の地域交流スペース（パブリックスペース）にて出張デパートを開催しました。ご参加いただいた入居者様やご家族の様子を職員の視点で観ると、改めて生活の連続性やご自分で選択できるという事の大切さを学べた取り組みとなりました。

何度も試着を行って真剣に洋服を選ぶ方、久しぶりにご家族とお買い物を楽しむ方、慣れ親しんだ職員と参加された方など参加状況は様々でしたが、イベントの規模よりも『何を、いつ、誰としたいのか』といった視点が大切で、日々のアセスメントの重要性が見出せました。ご家族からも続々とお褒めの言葉を頂き、大盛況のうちに終了しました。「何かをしてあげたいけど、どうして良いかわからない。」又、「どう施設と関わって良いかわからない...」そんなご家族もまだまだいらっしゃると思います。継続してアプローチを重ね、ご家族と一緒に入居者様を支える体制作りに努めていきたいと考えています。そして出張デパートに限らず、7月にはビアガーデンを予定しており、今後も様々な思考を重ね、より良い形で入居者様とご家族、地域、施設を繋ぐイベントを実施していく予定です。（統括リーダー 鬼澤竜也・生活相談員 戸井田 禎紀）

イベントで家族と地域と施設を繋ぐ出張デパート

出張デパート開催のお知らせ

どっちが良いかしら...

家族や職員と一緒に品選び

社会福祉法人 サンライフ  
ジョイフル多治見(岐阜県)  
施設長：鶴巣操

ジョイフル多治見は、ユニット型特養の他にサービス付き高齢者向け住宅、デイサービスセンター、ショートステイホーム、認定こども園を備え、自立から要介護までをトータルサポートし、更に世代間交流も出来る複合型の施設です。

特に子ども園の園児とは一緒におやつや作品を作ったり、発表会や作品展に招待されたり、地域感謝祭や夏祭り、秋祭り等の行事も合同で行っています。子どもたちと高齢者の相性は抜群。子どもたちと触れ合う時の利用者様の笑顔は、悔しいけれど私たち職員ではかないませんね。命のつながりを感じられるひとときです。（施設長 鶴巣操）

世代間交流もできる複合型施設 園児と交流

いらっしやいませ。ジョイフルスーパーですよ。

おいしいケーキ、出来るかな。

おばあちゃん、盆踊り教えてね。

ハロウィンのお菓子をどうぞ。

# 介護ニュース・ダイジェスト

5月1日～5月31日

厚生労働省や介護関係団体などの動向をまとめました。詳細はHPなどで確認してください。

## 子ども数 35年連続減少

総務省によると、4月1日現在、15歳未満の子供の数は1605万人、35年連続で減少した。総人口に占める割合は12.5%、人口4千万人以上の国の中で最も子供の割合が低い。

## 雇用調整助成金 上積み

厚労省は熊本地震で事業縮小を余儀なくされている事業主を対象に雇用調整助成金の受給要件をさらに緩和する特例措置(助成率引き上げなど)を講じる方針を明らかにした。

## 「見える化」推進を指示

安倍首相は経済諮問会議で2020年度までに基礎的財政収支を黒字転換させる政府方針を改めて強調するとともに、歳出改革の一環として、医療・介護の地域差などの「見える化」を推進するよう塩崎厚労相に指示した。

## 共通基礎課程の創設を

塩崎厚労相は経済財政諮問会議で医療系・福祉系の国家資格について複数の資格を取りやすくするため、養成課程において共通の基礎課程を創設する考えを示した。社会福祉士、介護福祉士、看護師、理学療法士、作業療法士、保育士などの資格養成を想定。

## 厚労省分割案 自民党小委

自民党若手議員による「2020年以降の経済財政構想小委員会」は肥大化した厚労省を分割する提言(3案)をまとめた。1案は「社会保障」と「子ども子育て」「国民生活」の3分割。2案は「国民生活」「子ども子育て」の2分割。3案は現行のまま2大臣を置く案。

## 外国人実習法案 継続審議へ

衆議院法務委員会は外国人技能実習法案の審議を継続審議とする方針を決めた。審

議再開は参院選後の臨時国会となる見通し。新たに「介護分野」の実習受け入れが盛り込まれている。

## 会計監査は法人単位

第2回社会福祉法人の財務規律の向上に係る検討会は、社会福祉法改正に伴う会計監査の在り方について①証明の範囲②実施内容(重点監査項目)③監督人非設置法人の専門家活用④の3点について審議した。厚労省は①法人単位の計算書類と附属明細書とし、必要に応じて拠点区分別の会計書類も対象とする②収益、資金管理、人件費、購買、固定資産、在庫管理の6つのプロセ

## 介護保険サービス縮小を建議

財務省の財政制度等審議会は基礎的財政収支を2020年度に黒字転換させるため社会保障費の抑制が必要だ一などとする建議書を厚生財務相に提出した。介護関連では軽度者サービス引き下げや、原則2割自己負担などを盛り込んだ。

## 規制改革案を答申

政府の規制改革会議は健康・医療、農業、地域活性化など5分野計80項目の2015年度規制改革案を答申した。診療報酬支払基金の再編などが柱。

## 「1億総活躍プラン」策定

政府の1億総活躍国民会議は、子育て・介護支援策などを柱とする「ニッポン1億総活躍プラン」をまとめた。保育士の月額賃金を6千円、介護職員は1万円程度、最低賃金を千円、それぞれ引き上げる。介護関連では、2020年代初頭までに介護基礎50万人分を整備、介護予防に取り込む自治体にインセンティブを付与、社会福祉法人の公益活動との連携強化などを盛り込んだ。

## 段階的な導入を提示

福祉部会(5月20日) 社会福祉法改正の課題を審議している福祉部会で、厚労省は、経過措置として、施行から3年間に限り、評議員数を4人以上とする基準について「施設数にかかわらず、事業活動計算書のサービス活動収益を基準に検討してはどうか」と提案。委員側から異論は出なかった。しかし、対象規模では委員から「1億円以下ではなく2億円以下にしてほしい」との要望があったが、次回以降で議論することになり、結論は先延ばしされた。(注)一定規模以上の法人は「理事数(6人以上)を超える数」。

## 特養の医療的ケア調査

検査委(5月24日) 厚労省は第11回介護給付費分科会の介護報酬検証・研究委員会28年度調査(7項目)の草案を示した。30年度の診療報酬・介護報酬同時改定を意図した調査研究が多いのが特徴。特養関連では「特養における医療的ケアの現状」「介護保険制度における質の評価に関する調査研究」の2項目。他には「通所・訪問等の重度者向けリハの実態」「医療機関の重度者への医療・介護サービス」「老健における適正な提供体制」「ケアマネジャー等の業務実態」「認知症高齢者へのケアマネジメント」。

## 地域支援の課題を論議

保険部会(5月25日) 第58回介護保険部会は次の介護保険制度改正に向けて厚労省が示した「地域支援事業、介護予防、認知症施策の論議について論議した。地域支援事業では「地域包括支援センターの業務量が多すぎる上、職員の力量が不足している」「要支援者のケアマネジメントをセンターの業務からははずしたどうか」「地域ケアは開催回数などで地域差がある」との指摘があった。介護予防では「保険者へインセンティブを付与する場、調整交付金とは別の財源が必要だ」。認知症施策では「認知症地域支援推進員や都道府県がもっと積極的に関わる仕組みにすべきだ」などの意見が出た。

## スバリ回答！ 人事・労務のお悩み

◎夜勤者の健康診断



### 【今月の相談内容】

当職場では、正職員に交替制で夜勤業務を行ってもらっています。職員によってその回数は違いますが、最近、夜勤者に対しては年2回の健康診断を実施しなければならぬと聞き、年1回しか実施していない当職場では違法ではないかと不安を感じています。

### 【解答と解説】

労働安全衛生法では、職員が健康に働くことができる職場環境づくりのために、健康診断を実施することを事業主に義務付けています。基本的には、採用した職員に対して「雇入時の健康診断(労働安全衛生規則第43条)」と、その後1年以内ごとに1回の「定期健康診断(同規則第44条)」を行う必要があります。こうした夜勤者に対しては、その職務に配置替えとなった際、およびその後6ヶ月以内ごとに1回、定期的に健康診断を実施する必要があります。これは「特定業務従事者の健康診断(同規則第45条)」と呼ばれています。もっとも、特定業務従事者の健康診断の診断項目は、定期健康診断と基本的には同一であることから、重ねて実施する必要はなく、6ヶ月ごとに1回実施すればよいものとして扱われています。

さて、この場合の夜勤者の範囲については、対象者の線引きに悩むところです。この点については、「深夜業従事者の自発的健康診断(同規則第50条の2)」において「6ヶ月間を平均して1ヶ月あたり4回以上の深夜業に従事したこと」という条件が定められていることから、こうした対象者に対して6ヶ月以内ごとに1回の健康診断を実施しなければなりません。仮にこうした対応を行っていないれば、法違反として、労働基準監督署による是正勧告など指導の対象にもなるため、対象者の有無を確認し、必要に応じて速やかに実施しましょう。

(監事・社会保険労務士 栗田淳一)

## 高齢者のリハビリ

【第3回】摂食・嚥下について



### 「食べること」は最大の「喜び」です

摂食・嚥下は、食物を認知することから始まり、それを口腔内に取り込み、咽頭、食道を通り、胃に至るまでの過程をさします。また、その過程は、先行期準備期、口腔期、咽頭期、食道期の5期に分類されます。この過程が機能せず、誤って食物が気道に入り込むことを誤嚥といわれます。

高齢者にとって誤嚥は肺炎の危険因子であり、予防のためには普段から口腔ケアや食事環境の整備等が必要です。高齢者の摂食・嚥下機能は改善するというよりも、適切な環境設定で食べられるといわれています。

施設内で摂食・嚥下が生活の課題になっている入居者は多く、状況を総合的に検証することが大切です。そのポイントとしては、①食事姿勢 ②嚥下・咀嚼機能の確認、③舌の動き、④食事時間、⑤車いすのサイズ、⑥食具の種類、⑦認知機能、⑧食形態、⑨場所、⑩食事動作の確認、⑪テーブルやイスの高さ、⑫嗜好等に注目することです。

また、これらに加え食事以外の過ごし方にも目を向けることが重要です。活動的な暮らしを送れば、自然にお腹も減るはずですので、普段から活気のある生活が送れるように支援しましょう。

人間にとって「食べること」は最大の「喜び」であることは皆様もよく分かっているはずですが、食事をサポートしていくことがOTの向上に直結します。食べないからといって安易に食形態を変えるより、まずは個別ケアとして、入居者の暮らしをもう一度見直してみたいかがでしょうか。

(社会福祉法人 兼愛会 統括リハビリテーション担当 鳥澤清人)

## 【用語解説】

情報セキュリティマネジメント試験 経済産業省が行う情報処理技術者試験の一つで、国家資格。28年度春期から新設・試験開始(春期・秋期の年2回実施)された。サイバー攻撃の手段が多様化・複雑化し、社会全体に対する非常に大きな脅威となってきたことを踏まえ、「情報処理技術者」ではなく「ITを利用する人」を試験の対象者としている。

## 今後の予定

- 第1期リーダー研修 6月16日(木) 東京・横浜
- 6月21日(火) 大阪
- 6月27日(月) 福岡
- 第2回実地研修施設募集説明会 6月20日(月) 大阪社会福祉協議会
- 第1回ユニットケア施設管理者研修 7月27日(日) 大田区産業プラザ
- 第2期リーダー研修 8月27日(日) 沖縄
- 9月7日(水) 東京
- 9月14日(水) 静岡

一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会

### 第10回 全国研修大会in新潟2016

2016 NINGGATA

「まち」、「ひと」、「ケア」で 結ぶ地域づくり

～これまでの10年、これからのトキめく地域を創造する～

平成28年 11月24日(木)～11月25日(金)

会場: ANAクラウンプラザホテル新潟  
会長: 田中 政春 (社会福祉法人長岡三古老人福祉会)  
実行委員長: 佐藤 真弥 (社会福祉法人河渡の郷福祉会)